

しあわせ



西宮市社会福祉協議会

違ってあたりまえ、 一人ひとりを 大切に



12月の障害者週間を前に、改めて「『障害』って何だろう?」と考えるきっかけとして玉木さんと職員の対談を行いました。今号の「しあわせ」はその対談の様子をお届けします。

“みんなと違うところ” “みんなと同じところ”

玉木 子どもいる?お父さんの仕事を聞かれたらなんて答える?

森田 6歳と2歳。「人の話を聞いている」と言っています。

玉木 小学校高学年ぐらいになったらどう答える?

森田 「生活のお手伝い」と言うかな…。玉木さんは小学校の講演などで子どもたちに「障害」のことをどうやって伝えていますか?

玉木 小学生に質問するんです。「みんなと僕が違うところは?」と。返ってくる答えは「顔がちがう」「身長がちがう」「名前がちがう」・・・と。それは当たり前のこと、だから、それ以外を聞く。僕は見た目です、言語障害など、特徴が分かりやすい。「しゃべり方がちがう」「ふらふらしている」「お茶の飲み方が違う」と、身体的な特徴を言ってくれる。「じゃあ、みんなと同じところは?」と聞く。そしたら、子どもたちは何て答えると思う?

森田 人間?

玉木 あたり!大きな声で「人間」と。気持ちいいぐらいにストレートに言ってくれる。「みんな同じ」ということは「人間」であること、それだけが一緒であって、それを外すと「一人ひとり違う」はず。小さい時から「みんな一緒」と言われ続けてきているから、ちょっと違う子は「あの子、ほくらと違う」となってしまう。本当は、

誰一人まったく同じ人間なんておらへん。

森田 そう考えると、結局のところ本当の「障害」って何ですかね?

玉木 一般的に障害というのは、身体、精神、知的、難病...など障害者手帳を持っている人や、診断を受けた人に障害があると言われてきたが、僕は生まれつきの障害、このしゃべり方、この身体が僕にとっては普通。そういう状況の中で、いわゆる障害のある人が、地域の中で“阻害され、生きづらい状態があることが障害”だと思っている。また、今の社会を作ってきた障害がないと言われていた人の意識(こころ)の中にこそ、本当の障害がひそんでいるのではないかと考えている。

“とりあえず話してみよう” “向き合ってみよう”

森田 地域で暮らしていて、障害や生活のしづらさについて考えるきっかけってあるものですか?

玉木 きっかけは目の前に現れるか現れないか・・・それだけ。目の前に自分とちょっと違う人が来たときに拒絶せず、まず、「この人、なんでこんなんだろうか」と考えることから始めてほしいな。何でもそうだけど、それからしか始まらない。森田くんも働き始めは、相談を聞くだけでドキドキしてたと思う。「どんな人だろう?」「うまく話聞けるかな?」って。でも、やっていく中で変わってきたはず。一般社会でも「とりあえず話してみよう、とりあえずどんな人が向き合ってみよう」そういうことからしか始まらないはず。それは障害があるなしには関係なく、同じことだと思う

話し手



西宮市社会福祉協議会
権利擁護普及推進アドバイザー

玉木 幸則さん

脳性まひにより日常的に車いすの使用を必要とする。小中学校は普通学級、高校は養護学校で過ごす。大学卒業後は自立生活センターに勤務し、障害者の自立生活運動にのめり込む。現在は権利擁護普及推進のアドバイザーを務めながら、厚生労働省の委員や内閣府障害者政策委員としても活躍している。

聞き手



西宮市社会福祉協議会
障害者総合相談支援センターにしのみや相談員

森田 健太郎

精神科医療の現場で約15年勤務、今春より西宮市社会福祉協議会の障害者総合相談支援センターにしのみやの相談員として、市民や関係機関等から様々な相談を受けている中で、障害者観について改めて考えている。



森田 人としてちゃんとお付き合いするということですね、でも、実はそれが難しいですよね。

玉木 今、ここにいる人同士でも難しい、でもそういうこと。

森田 あまり深く考えすぎなくてもいい?

玉木 小学生の低学年の子たち、「おっちゃん、なんで車いす乗ってるの?」とかバンバン聞いてくれる。ちゃんと見てくれる、疑問に思ってくれることは心地よい。高学年になると、身体のことを聞いたら失礼やっとなる。身体のことを聞くのは失礼ではない。聞いた後に馬鹿にするのが失礼。そこが一緒くたになってしまっている。身体のこと、顔のこと、聞いたらあかんことはない。知らないから聞く、馬鹿にするためではなく、納得するための質問、それはどんどんしてほしいなあ。

「障害者総合相談支援センターにしのみや」では、一人ひとりが自分らしく、生き生きと暮らしていくために、相談支援、ネットワークづくりや啓発活動を行っています。

障害者総合相談支援センターにしのみや
TEL.0798-37-1300 FAX.0798-34-5858

知っていますか? 障害のある人の“ふつう”の暮らし

西宮市あいサポーター養成講座を受講して、あなたも“あいサポーター”に!!

開催予定

【日時】令和4年12月12日(月)13:30～15:00 【場所】西宮市総合福祉センター(梁殿町8-17)

だれでも参加OK

【日時】令和5年 1月16日(月)10:00～11:30 【場所】西波止会館(西波止町5-18)

参加費無料

【日時】令和5年 1月27日(金)14:00～15:30 【場所】山口センター(山口町下山口4-1-5)

情報保障対応あり

【お問い合わせ】 地域福祉課 福祉啓発係 TEL.0798-31-3006 FAX.0798-23-3910

開催の詳細はこちら



お申し込みはこちら



たくさんのご寄付ありがとうございました

「西宮つながるフードパントリー」開催!

9月・10月に市内4会場でフードパントリー（食材提供会）を実施し、市民や団体等からご提供いただいた食材を約200世帯の方に配布しました。参加者アンケートから、新型コロナウイルスにより生活への影響が続き、この先の暮らしに不安を抱えておられることが改めて見えました。今後も様々な方と連携し、人々に寄り添った取り組みを継続していきます。



フードパントリー当日の様子

今回は1月末～2月頃開催予定です。詳細が決まりましたら西宮市社会福祉協議会ホームページに掲載します。

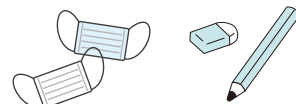
フードパントリーのお問い合わせはこちら

共生のまちづくり推進課 TEL.0798-61-1361 FAX.0798-61-1409

善意銀行への寄付報告(令和4年3月～令和4年9月末)

物品寄付 ボッチャセット、ふきとり布、衛生用品、文具など

NPO法人とんとん、大関株式会社、株式会社玄米家、藤本糧穀株式会社、古南真弓、杉本真子、山中正行、生活協同組合コープこうべ、明治安田生命保険相互会社 西宮営業所、匿名 全32件(敬称略)



金銭寄付 合計 539,530円

井本剛司、善意の日のつどい参加者(募金箱)、総合福祉センター利用者(募金箱)、大和証券株式会社 西宮支店、ネットトヨタ神戸株式会社 ネットテラス西宮、匿名 全15件(敬称略)

引き続き、「善意銀行」へのご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ 総務課 TEL.0798-34-3363 FAX.0798-35-5500

共同募金運動

10月1日から実施している赤い羽根共同募金運動に今年も多くの方々のご協力を頂きありがとうございます。皆様からお寄せいただきました募金は、兵庫県と西宮市の福祉活動や災害支援などに役立てさせていただきます。



募金百貨店プロジェクトを実施しています!

10月から下記の「寄付つき商品」の販売をしています。皆様の応援をよろしくお願いいたします。詳細は、西宮市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

夙川さくら作業所

- さくらサブセット (350円)
* サブレ3枚
* パウンドケーキ1個



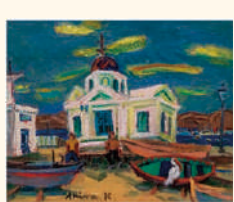
おむすび屋えんむすび

- 「あかはねちゃん」お弁当(450円)
- おむすび
* たぬき(120円)
* 鮭わかめ(150円)



とんとん

- Number 純米大吟醸原酒 720ml(2,750円)
- コシヒカリ 10kg (白米4,400円・玄米3,800円)
- 絵画



●12月1日からの歳末たすけあい運動へのご協力もよろしくお願いいたします●

お問い合わせ 西宮市共同募金委員会 (西宮市社会福祉協議会内) TEL.0798-23-1140 FAX.0798-23-3910

令和5年度も共同募金公募型助成を行います



西宮市社協では、市内の団体で地域と人とのつながりづくりやささえあい活動・事業などを対象に助成を行っています。令和5年4月1日～令和6年3月31日の期間に実施する活動への助成の申請受付は、令和4年12月16日までです。

詳細については西宮市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ 地域福祉課 TEL.0798-23-1140 FAX.0798-23-3910

集会施設・体育施設を利用しませんか?

西宮市総合福祉センターでは、集会施設(会議室・集会室・料理実習室)や体育施設(プール・トレーニング室・体育室)のご利用(予約制)ができます。また、年間を通して様々な教室や講座を開催しています。



- 【文化教養関連】 教室(料理・物作り・音楽関係など)・講座(健康関係など)
- 【スポーツ関連】 障害者スポーツ教室・イベント(ボッチャ・卓球・ローリングパレーボールなど)

日程・利用方法・申込方法など詳細につきましては、西宮市社会福祉協議会ホームページやお電話、西宮市総合福祉センター受付でご確認ください。

お問い合わせ 西宮市総合福祉センター TEL.0798-33-5501 FAX.0798-35-1132
総合福祉センター事業課 (プール・トレーニング室予約専用 TEL.0798-78-3388)

講座のお知らせ

福祉ボランティア入門講座

コロナ禍となり3年が経ちます。外出を控えたり、人との交流が減少することで、元気がなくなっている人たちが増えています。

今回は、地域や施設で高齢者等が元気になるレクリエーションなど提供するボランティアグループ立ち上げに向けた講座です。

【日時】 令和5年1月26日(木)・2月1日(水)・2月9日(木) いずれも13:30～15:30 (全3回)

【場所】 西宮市総合福祉センター2階 研修室1・2

【対象】 講座受講後 ボランティアとして活動できる方

【参加費】 無料 【定員】 20名(先着順) 【申込締切】 1月10日(火)

【お申し込み】

右記QRコードまたは電話、FAX、メール(氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話/FAX番号を明記)で申し込み

【お問い合わせ】

ボランティアセンター

TEL.0798-23-1142 FAX.0798-23-3910 E-mail: volavola@n-shakyo.jp

お申し込みはこちら



災害ボランティア養成講座

近年、自然災害が脅威を増しています。このような中、被災地の支援にボランティアが大きな力を発揮します。この講座では、災害時に活動するボランティアについて学びます。

【日時】 令和5年1月14日(土)・1月21日(土) いずれも13:30～15:30 (全2回)

【場所】 西宮市総合福祉センター2階 研修室1・2

【講師】 NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事 寺本弘伸さん

【対象】 災害ボランティアに関心のある方 18才以上、市内在住・在勤・在学

【参加費】 無料 【定員】 30名(先着順) 【申込締切】 1月10日(火)

【お申し込み】

右記QRコードまたは電話、FAX、メール(氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話/FAX番号を明記)で申し込み

【お問い合わせ】

ボランティアセンター

TEL.0798-23-1142 FAX.0798-23-3910 E-mail: volavola@n-shakyo.jp

お申し込みはこちら



令和4年度 兵庫県起業家支援事業(社会的事業枠)「障害のある方の居場所づくり」事業採択



行政書士オフィスken

障害福祉に携わる
事業者様をサポートします

親なきあと問題
相談窓口
開設致しました!

「障害福祉サービス事業」専門の行政書士事務所です。指定申請・各種変更届・算定届出等代行、運営サポートは当事務所にお任せください。

想いのある事業者様と伴走してサポート致します! 事業者様、ご家族様向けの出張セミナーも行ってまいります。どんなことでも結構です。お気軽にご相談ください。

◆マイナンバーカード代理申請◆ 施設までお伺い致します!



〒662-0021 西宮市神原1-14-301

TEL 0798-61-5955
FAX 0798-61-5956

行政書士
こあみともこ
小網智子



この広報紙は、市民のみなさまからご協力いただきました「赤い羽根共同募金」の配分金で作成しています。